

「積極的平和」の生みの親で「平和学の父」  
ヨハン・ガルトゥング博士が緊急再来日！  
発表会ご出席依頼（4月16日（土）横浜）

3月に安保法案が施行されました。7月には国政選挙、その後には憲法改正議論が活発化すると思われま。これから日本がどこへ向かうことが日本や世界の平和につながるのでしょうか？世界で200以上もの紛争調停の経験を持ち「平和学の父」として名高いヨハン・ガルトゥング博士が5月に再来日して日本のため、世界のために、「積極的平和」を基とした具体的な提言を行い、トークゲストや来場者とディスカッションを行います。



4月16日（土）11時から横浜市さくらワークス<関内>にて、ガルトゥング博士講演会の主旨、目指すところなどを、主催する一般社団法人国際平和映像祭の代表理事の関根健次が今回の招聘について話し、1987年に国際連合よりピースメッセンジャー（平和の使徒）の称号を授与された横浜市から何が出来るかについて、ゲスト・来場者とともにディスカッションを行います。

昨年、大さん橋で開催した講演会の際に、ガルトゥング博士は「積極的平和」を基とした3つの提言しました。その3つとは、

（1）北東アジア共同体を構築すること（2）専守防衛に徹すること（3）憲法9条1項を世界のためにです。今回はこの提案について更に一步議論を進めるために来日されます。日本が真の独立国となるために何が必要かということもお話しになると思いますし、強硬姿勢が続く北朝鮮にどう対応すべきかの提言もあるかと思ひます。

多くの報道関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

**発表会日時：4月16日（土）11時 さくらWORKS<関内> イベントスペース（右側）**

ゲスト：関根健次（一般社団法人国際平和映像祭代表理事）、小俣典之（NPO 法人横浜 NGO 連絡会）、池田真隆（オルタナS副編集長）、柳澤史樹（Team LINKS 代表）ほか。

所在地：横浜市中区相生町3-61 泰生ビル2F <http://sakuraworks.org/>

お問い合わせ：国際平和映像祭 代表理事 関根健次 [contact@ufpff.com](mailto:contact@ufpff.com)

**【開催決定イベント1】ヨハン・ガルトゥング博士講演会（5月22日横浜市）**

日時：2016年5月22日（日）19:00- 21:00（18:30 開場）予定

場所：関内ホール（横浜市中区住吉町4-4 2-1）募集人数：1000人

料金：一般3,000円 学生1,000円を予定

**【開催決定イベント2】ヨハン・ガルトゥング博士とのディスカッション（5月24日東京都）**

伊勢谷友介さん（俳優/映画監督/リバーズプロジェクト代表）、奥田愛基さん（SEALDs/ReDEMOS）、谷崎テトラさん（構成作家/音楽プロデューサー）丹下紘希さん（映像作家/アートディレクター/NOddIN）をトークゲストにヨハン・ガルトゥング博士と共にこれからの日本の平和についてディスカッションします。

日時：2016年5月24日（火）19:00- 21:30（18:30 開場）予定 場所：東京都内で調整中

募集人数：300人程度 料金：一般3,000円～4,000円程度を予定

## ▽招聘者メッセージ

この度、再びガルトゥング博士の招聘を企画した一般社団法人国際平和映像祭代表理事の関根健次です。去年8月の来日時は安保法案成立直前ということもあり、「平和学の父」が本当の意味の「積極的平和」に基づく提言をしに来日したことがTV、新聞、雑誌のメディアで取り上げられ、大きな話題となりました。今回の来日の狙いは、博士本人も希望することですが、議論を深めることです。安保法案成立後、初めての国政選挙が目前に迫っており、いよいよ憲法改正が現実味を帯びてきた今、国民一人ひとりが傍観するのではなく、未来を見据えて、考え、行動する時です。私たち一人ひとりが未来志向に、クリエイティブに、どのような未来を描くのか。この機会がよりよい日本の、世界の未来のための議論の出発点となればと願っております。

## <ご協力のお願ひ>

現在、ガルトゥング博士の招聘のための資金調達をクラウドファンディング「Motion Gallely」を使って行っています。応援・参加をよろしくお願ひいたします。

▽「平和学の父」ヨハン・ガルトゥング博士が緊急再来日！日本の、世界の平和のために！

<https://motion-gallery.net/projects/galtung2016>

## ▽ヨハン・ガルトゥング博士 (Johan Galtung) プロフィール



1930年ノルウェー生まれ。平和学の第一人者で世界的に「平和学の父」として知られる。1959年に世界初の平和研究の専門機関、オスロ国際平和研究所(PRIO)を創設。1964年には影響力のある専門誌、平和研究ジャーナル(Journal of Peace Research)を創刊。その他多くの平和研究機関設立に貢献している。

平和学の教授としてコロンビア大学、立命館大学など世界中で数千人の学生を指導。1957年からこれまでに200以上の国家間、宗教間紛争を調停した経験を持つ。平和を戦争のない状態と捉える「消極的平和」に加えて、貧困、抑圧、差別などの「構造的暴力」がない「積極的平和」を提起し、平和の理解に画期的な転換をもたらした。また紛争解決ではなく紛争転換という考え方、トランセンド法(超越法)を発案し、1987年にもう一つのノーベル賞と言われる「ライト・ライブリフッド賞」を受賞している。

これまでに発表した平和に関する文献は共著を含み1600以上で著書は160を数える。2000年には世界初のオンラインで平和学が学べる大学、トランセンド平和大学を創設した。また、国際NGOトランセンドの創設者で代表でもある。2016年ノーベル平和賞受賞候補者としてノミネートされている。

## ▽主催者 一般社団法人国際平和映像祭について

一般社団法人国際平和映像祭は、毎年国連が定めたピースデー9月21日に合わせて平和がテーマの映像祭、国際平和映像祭(UFPFF)を横浜で開催しています。世界中の学生を中心とした若者たちが映像をきっかけに互いを知り、つながってほしいという願ひから、開催を続けています。UFPFF2016はJICA横浜にて開催します。

<http://www.ufpff.com/>

本件に関するお問い合わせ：国際平和映像祭 代表理事 関根健次 [contact@ufpff.com](mailto:contact@ufpff.com)

国際平和映像祭(UFPFF)についての最新情報はfacebook やオファシャルサイトをご覧ください。

オフィシャルサイト：<http://www.ufpff.com/> facebook：<https://www.facebook.com/UFPFFjp/>